

# ちがさきRENの「ためになる映画会 & トーク」



**ハンキキヴィ・ワン**  
 = 作品紹介 =  
 フィンランドは、ヨーロッパではフランスに次ぐ原発依存国です。日本では、放射性廃棄物最終処分施設「オンカロ」で知られています。  
 作品タイトルは、ハンキキヴィ半島に建設予定の名称で「福島第一」と、同じような名づけ方です。  
 フィンランドでも、世論は脱原発の方が多数。本作でも住民の声や行動、意見などが生き生きと描かれています。  
 = ストーリー =  
 フィンランドの自然豊かなハンキキヴィ半島近くに家族と住むハンナは、半島への原発建設計画を知って、反対運動に奔走して国会議員となる。フィンランドの原発建設には、ロシアの原子力エネルギー公社ロスアトムが深く関与。ハンキキヴィ・ワン原発の核燃料には、ウラルのマーク核コンビナートで生成されたものが使用される。マークが垂れ流す水域の放射線量はチェルノブイリの三倍。地域住民への被害がすさまじい。そのシステムをつくらした人々もがんで亡くなったと証言する女性は、ロシアを追われている。

## 「ハンキキヴィ・ワン」29分

フィンランドの原発計画とウラルの悲劇

## 「放射線のホントのこと」22分

- 会場: 茅ヶ崎市役所分庁舎6階コミュニティホール
- 日時: 2017年8月12日(土) 14:00~16:30
- 資料代: 500円 (学生は無料) ● 定員: 80名
- 申込先: chigasakiren@yahoo.co.jp

090-7940-5767(西川)

● 準備の都合上、お申し込みをお願いします。

● <クールワンドリンク付き>マイ・マグカップ持参大歓迎

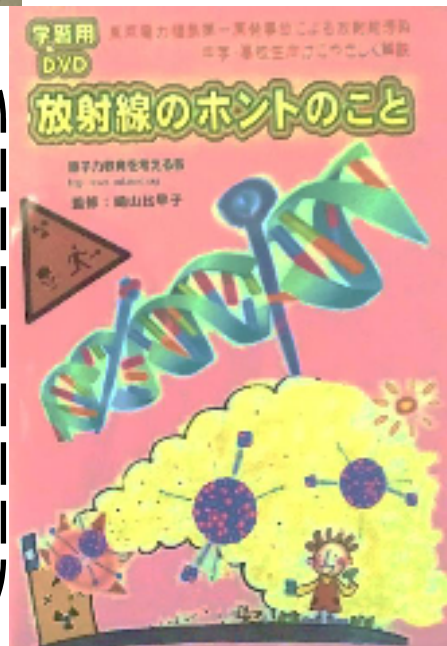
主催: NPO法人ちがさき自然エネルギーネットワーク



<有原誠治さん> 映画監督  
 核兵器廃絶と平和の願いをアニメで伝える人。テレビアニメ「巨人の星」でアニメーターとしてスタート。「ニルスの不思議な旅」、原爆被爆60周年平和記念作品「NAGASAKI・1945～アンゼラスの鐘～」など、数多くのアニメの制作に携わる。ほかにドキュメンタリーに「原爆症認定集団訴訟の記録 おりづる」「一歩でも二歩でも」がある。ご自身の活動についてもお話しいただきます。第34回日本映画復興賞 日本映画復興賞「被爆者の声をうけつぐ映画祭実行委員会」として受賞 第31回下町人間庶民文化賞受賞



れんこちゃん



### 放射線のホントのこと

東京電力福島第一原発事故による放射能汚染を、中学・高校生向けにやさしく解説した学習用DVD。  
 制作 原子力教育を考える会  
 監修 崎山比早子さん

### <羽角章さん>

県立高校教諭 ちがさきREN会員  
 「新しい環境学習をつくるネットワーク」代表  
 原子力教育を考える会メンバーとして、「放射線のホントのこと」制作に携わる。制作の経緯をお話しいただきます。